



田舎かえる、都市カエル



POSTCARD

stamp



<http://www.inakajikan.com/>
seiki@inakajikan.com

〒140-0001 東京都品川区北品川1-22-18-314 田舎時間事務局

田舎には都市にない、忘れてしまった、懐かしい何かが存在する。便利を求めて創りだした人工物が都市であるから、自然物の田舎は生活の上で何かと不便であり、苦勞が絶えない。しかしその苦勞には様々な発見と智慧がある。例えば、都会では高いお金を出せばおいしい食事も可能だが、田舎では当たり前のように五感で食を味わうことができる。水水しかかったり、泥泥しかったりする。お金には換えられない、ものすごくかけがえの無いものがまだ田舎には存在する。

私は都市で暮らしているが、時々、週末の惰眠と引き換えに田舎に行く。とても贅沢なことだと思ふからだ。もともと「田舎時間」はある志の強い人物が、1人で未知の田舎である山形県上山市を訪れ、2年の間に22回という地道な交流で築いてきた、地元の人々との信頼によって成り立っている活動である。都会の有志を集めて週末、上山市の農家にお邪魔して労働力として迎え入れて頂くわけだ。もちろん初心者であるから、すぐには役に立たない。だからどうしてもお客さんになってしまふ。それが悔しかったりする。故にまた来たくなる。

今、世の中は大きく変わろうとしている。だからこそ普遍的なものを大切にしたい。都市と田舎の両種類。それが「田舎時間」である。

pOsted by 中山誠基

[QRコード]

●田舎時間の情報は以下ホームページから発信しています。
<http://www.inakajikan.com/>

●田舎時間の運営参加に興味がある方は以下までご連絡下さい。
support@inakajikan.com